

課題名(タイトル): Study for visualization of skin conditions based on health and medical data

利用者氏名:

○芦崎 晃一(1), 石川 哲朗(2), 盛 文香(2)

理研における所属研究室名:

(1) 情報統合本部 先端データサイエンスプロジェクト

(2) 情報統合本部 先端データサイエンスプロジェクト 医療データ推理推論チーム

1. 本課題の研究の背景、目的、関係する課題との関係

本研究では、アトピー性皮膚炎が皮膚に与える影響を科学的に理解することを目的とし、大量の健康・医療データを収集した上で、そのデータを基に皮膚の健康状態や疾患状態の可視化を目指す。スーパーコンピュータ「HOKUSAI BigWaterfall 2」を用いて、オープンなパブリックデータと合成データに基づく解析を行い、可視化技術の開発を推進する。

2. 具体的な利用内容、計算方法

利用がなかったため記載なし(6.で後述します)

3. 結果

利用がなかったため記載なし(6.で後述します)

4. まとめ

利用がなかったため記載なし(6.で後述します)

5. 今後の計画・展望

利用がなかったため記載なし(6.で後述します)

6. 利用がなかった場合の理由

本研究において、アトピー性皮膚炎と健常皮膚の状態を比較する解析の実施には、倫理審査が不可欠である。審査が順調に進行した場合、2025年5月下旬に実施される見込みである。また、審査結果を踏まえ、研究計画の再検討および必要な体制の整備が求められることから、当初予定していた期間内でのスーパーコンピュータ「HOKUSAI BigWaterfall 2」の利用を見送る判断に至った。来年度には、健常皮膚を対象としたPoCや皮膚疾患に関する合成データの生成を基に、解析の本格的な実施を開始する予定である。